

守山市ゼロカーボンシティ宣言

近年の地球温暖化による気候変動の影響は、全世界的に深刻な問題であり、生物多様性の喪失、線状降水帯やこれまでにない規模の台風の発生、猛暑による農作物の生育不良、熱中症等の増加等私たちの生活にも多大な影響をもたらしています。

私たちは、今まで以上に地球環境に強い危機感をもち、再生可能エネルギーの利用や徹底した省エネルギーの推進、また脱炭素型のライフスタイルへの転換など、脱炭素化に向けた取組を加速化する必要があります。この危機感の中、市としても、再生可能エネルギーやCO2ゼロ電力の公共施設での活用、公用車の順次EVへの転用等、率先した取組を進めてまいります。

一方、本市は、これまでから恵まれた環境を未来へつなぐため、市民が共に学び、考え、行動する『環境学習都市』を宣言し、「ホテルが飛び交うまちづくり」、「琵琶湖・赤野井湾の湖底ごみの除去活動」など、市民、事業者、行政が一体となった取組を進めてきました。

地球温暖化という、この地球規模の問題に対しても、本市の強みであるこの「市民力、地域力、協働の輪」を活かし、「豊かな守山の環境」、ひいては「豊かな地球環境」を未来につなぐため、2050年の温室効果ガス排出量ゼロ（カーボンニュートラル）の実現を目指し、全力で取り組むことを宣言します。

令和6年3月25日

守山市長 森中 高史